令和3年度徳島県公立高等学校入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症に対応した検査実施のための要請事項

1. 検査を受検できない者

- (1) 新型コロナウイルス感染症に罹患し、検査日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
- (2) 濃厚接触者と特定された者（ただし、検査日前日までに初期スクリーニング（自治体によるPCR検査及び検疫所における抗原定量検査）の結果が「陰性」かつ無症状者を除く）
なお、初期スクリーニングが陰性かつ無症状者については、検査当日、別室にて受検可能とする。
- (3) 検査当日、37.5度以上の熱がある者

2. 受検生に対する要請事項

- (1) 自主検温
検査日の7日程度前から（県外からの志願者については、県境を越えた移動が必要となるため、2週間程度前から）、朝などに体温測定を行うこととし、体調の変化の有無を確認すること。
- (2) 医療機関での受診
検査日の2週間程度前から発熱・咳等の症状がある受検生は、あらかじめ医療機関での受診を行うこと。
- (3) 追検査等受検の検討
検査日の前から継続して発熱・咳等の症状のある受検生は、当初予定していた日程ではなく、追検査等の受検を検討すること（特色選抜及び連携型選抜は追検査は実施しない）。
- (4) 検査当日における対応
発熱・咳等の症状のある受検生は、検査当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受検を取り止め、追検査等の受検を検討すること。また、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受検生は、その旨を検査監督者等に申し出ること。
症状の有無にかかわらず、各自マスク（何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、あらかじめ受検する学校に相談すること）を持参し、検査場では、昼食時以外は常に着用すること。休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話を極力控えること。
- (5) 検査当日の服装，昼食
検査当日、検査室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参すること。また、昼食時は、自席で食事をとること。
- (6) トイレの使用
感染リスクが比較的高いとされているので、トイレ入口等で密にはならないように混雑を避けた利用や、利用後の手洗いなどを行うこと。
- (7) 予防接種
他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことが望ましいこと。
- (8) 「新しい生活様式」等の実践
日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけること。

3. 引率者等に対する要請事項

集団の形成を極力抑制する観点から、引率者等控室については原則設置しない。ただし、やむを得ない事情により引率等を必要とする場合もあり得るため、この場合は、中学校から高校へ相談すること。

4. その他

今後、上記の内容で対応できない場合には、改めて必要な事項について検討し、必要な更新・修正等を行うこととする。